

大学からのWIPO GREENへの期待

～ 非営利組織である明治大学高分子科学研究所の活動を通して～

明治大学高分子科学研究所
永井一清

2021年12月11日(土) 16:00 ~ 18:00
オンライン開催



明治大学高分子科学研究所とは

<https://www.isc.meiji.ac.jp/~polymer/index.html>

- 明治大学高分子科学研究所 (Meiji University Center for Polymer Science) は、本学理工学部応用化学科永井一清研究室で行っていた活動を基として、2006年に「高分子科学に関する基礎研究、応用研究、実用化研究および新研究分野探索」を実施するために設立された研究所であります。
- 様々な共同研究プロジェクトを推進すると共に、シンポジウム (ポリマーアカデミー Polymer Academy) やセミナー (ポリマーサイエンスセミナー Polymer Science Seminar) を通して高分子科学に関する啓発活動を行っています。2016年から**オープンイノベーション**を推進しています。
- また、本研究所として国際標準化に貢献できる方策を検討し、**明治大学国際標準化センター (Meiji University Center for International Standardization)** を2019年に設置しました。
- 2019年には、世界知的所有権機構 (WIPO) の環境技術パートナーズ (WIPO GREEN Partners) となり、本研究所としてWIPO GREENでの活動の幅を広げるために、**明治大学グリーンテクノロジーアライアンス (Meiji University Green Technology Alliance)** を2020年に設置しました。**科学技術**の社会実装に必要な**施策・法規制**や**財政措置**等の社会制度の視点を取り入れて活動しています。



明治大学高分子科学研究所の取り組み

～ オープン&クローズ戦略 ～

20世紀末はグローバル化・貿易対応(WTO/TBT協定)
研究開発・知財、標準化、規制引用・認証を、段階的に進行



21世紀に入り、企業の競争力の獲得と新市場創出へ
現在は、研究開発・知財、標準化、規制引用・認証の整備を同時に進行



研究開発の際に知財だけでなく
標準化も考慮する必要性が出てきた。

さらに、**科学技術**の社会実装に必要な**施策・法規制**や**財政措置**等の社会制度
の視点を取り入れて活動しています。



国際標準化機構 (ISO)

～ ISO TC61/SC11 プラスチック製品委員会 ～



Standards About us News **Taking part** Store EN MENU

ISO/TC 61

ISO/TC 61/SC 11

Products

ABOUT

SECRETARIAT: [JISC](#)

Committee Manager: [Mr Toshio Yokoyama](#)

Chairperson (until end 2023): [Dr Kazukiyo Nagai](#)

ISO Technical Programme Manager [TPM]: [M Stéphane Sauvage](#)

ISO Editorial Programme Manager [EPM]: [Mrs Martha Casantosan](#)

Creation date: 1981

QUICK LINKS

[WORK PROGRAMME](#)

Drafts and new work items

[WORKING AREA](#)

Working documents (user account required)

[ISO ELECTRONIC APPLICATIONS](#)

IT Tools that help support the standards development process

ISO/TC 61/SC 11

<https://www.iso.org/committee/49424.html>



Meiji University 4
Nagai Laboratory

国際標準化機構 (ISO)

～ ISO TC61/SC11 プラスチック製品委員会 ～

[Standards](#)[About us](#)[News](#)[Taking part](#)[Store](#)[EN](#) [MENU](#)

This committee contributes with 50 standards to the following [Sustainable Development Goals](#):



133

PUBLISHED ISO STANDARDS*

under the direct responsibility of ISO/TC 61/SC
11

36

**ISO STANDARDS UNDER
DEVELOPMENT***

under the direct responsibility of ISO/TC 61/SC
11

24

PARTICIPATING MEMBERS

14

OBSERVING MEMBERS

* number includes updates

STRUCTURE

LIAISONS

REFERENCE ↓	TITLE	TYPE
ISO/TC 61/SC 11/WG 2	Decorative laminates and solid surfacing materials	Working group
ISO/TC 61/SC 11/WG 3	Plastics films and sheeting	Working group
ISO/TC 61/SC 11/WG 5	Polymeric adhesives	Working group
ISO/TC 61/SC 11/WG 11	Wood-plastic composites	Working group
ISO/TC 61/SC 11/WG 13	Fiber reinforced plastics modular framework	Working group

ISO/TC 61/SC 11

<https://www.iso.org/committee/49424.html>



Meiji University 5
Nagai Laboratory

Sustainable Development Goals (SDGs)

持続可能な開発目標



They are integrated and indivisible and balance the three dimensions of sustainable development: the **economic, social and environmental**.

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち**経済、社会**及び**環境**の三側面を調和させるものである。

WIPO GREENへ登録している日本の大学8機関

2019年以前は個別の研究機関での参加

明治大学高分子科学研究所

早稲田大学環境総合研究センター

2020年以降は大学本体での参加

東海国立大学機構(岐阜大学・名古屋大学)

国立大学法人山形大学

国立大学法人東北大学

国立大学法人東京大学

国立大学法人九州大学

国立大学法人東京工業大学

(2021年12月1日現在)



Green Technology Marketplace 2021 & 2022

~ International symposium for accelerating the dissemination of Japanese Environmental-sound technologies ~

Green Technology Marketplace 2021

~International symposium for accelerating the dissemination of Japanese Environmental-sound technologies~

グリーンテクノロジーマーケットプレイス 2021

~日本の環境技術の海外移転促進をめざす国際シンポジウム~

主催: 明治大学高分子科学研究所

共催: 明治大学環境法センター

Partner of
WIPO GREEN

後援: 明治大学国際連携本部

明治大学研究・知財戦略機構、

明治大学技術士会

日本技術士会WIPO Green研究推進会

本国際シンポジウムでは、
世界的知的所有権機関 (WIPO) によるWIPO GREENを
はじめとしたグローバルな取り組みのなかで、
①いかにして日本の環境技術の海外移転を実現するのか、
②それによるアジア太平洋諸国の持続可能な開発や
持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に向けた研究課題と
その解決策について、
科学技術の社会実装に必要な不可欠な施策・法規制や
財政措置等の社会制度の視点を取り入れ、国内外の
多様な研究者・専門家を集めて議論する。

日時
2021.1.15

Fri.15:00-18:30

会場

オンライン開催

Zoomシステム使用

日本語と英語の逐次通訳有

参加費
無料

定員
100名

プログラム

15:00~15:05 開催の挨拶: 永井一清 司会: 萩原健太

15:05~15:20 基調講演 清水祐樹 (特許庁)

第1部 日本およびアジアにおける環境技術開発の状況

15:20~15:40 高分子科学を中心とした日本の環境技術開発の状況
永井一清

15:40~16:20 アジア域における環境技術のベストプラクティスの展開
Er. Tan Seng Chuan (FEIAP, IES)

第2部 日本の環境技術の海外移転に向けたWIPO GREENの活用

16:20~16:40 WIPO GREENの概要と日本からの貢献 諏訪頼正

16:40~17:00 WIPO GREENを活用したオープンイノベーションモデル
小松英司・柳憲一郎

休憩 15分

第3部 パネルディスカッション モデレータ: 諏訪頼正

17:15~17:45 WIPO GREENの今後の展望と日本への期待
Ms. Marion (Amy) Dietterich (WIPO)

17:45~18:25 日本の環境技術の海外移転促進に向けて
講演者全員によるパネルディスカッション

18:25~18:30 閉会の挨拶: 柳憲一郎 司会: 萩原健太

Green Technology Marketplace 2021 & 2022

～ International symposium for accelerating the dissemination of Japanese Environmental-sound technologies ～

日本の環境技術の海外移転促進をめざす 国際シンポジウム

科研費セッション：脱炭素社会と二酸化炭素回収貯留

WIPO GREEN セッション：グリーンテクノロジーマーケットプレイス 2022
～ WIPO GREEN を活用したアフリカとの連携～

主催：明治大学環境法センター
明治大学高分子科学研究所
後援：日本技術士会WIPO Green研究推進会
明治大学技術士会
明治大学研究・知財戦略機構
明治大学国際連携本部 (50名額)

Partner of
WIPO GREEN

本国際シンポジウムでは、
持続可能な社会への転換をめざす、
海外との連携も含めた産官学連携の取組みとして、
- アジア太平洋地域におけるCO₂回収貯留の法規制に
関する研究成果報告、および
- 昨年度に引き続き、「WIPO GREEN」(国連世界的所有権
機関の、環境技術の海外移転を促進する取組み)
の活用に関して、今年度は特にアフリカ・サブサハラ地域に
注目し、現地エキスパートも参加して行う議論
を、2部構成で行う。

日時
2022.1.21
Fri.13:30-18:30(13:00開場)

会場
オンライン開催
Zoomシステム使用
日本語と英語の逐次通訳有

プログラム

第1部 科研費研究成果セッション：

脱炭素社会と二酸化炭素回収貯留
(科研費基盤研究課題番号17H04488の成果報告)

- 13:30～13:35 開催の挨拶：柳憲一郎 司会：小松英司
- 13:35～13:55 アジアのグリーンエネルギー戦略とCCS
Jinmiao Xu (Asian Development Bank)
- 13:55～14:15 インドネシアの脱炭素社会とCCUSの挑戦
Rachmat Sulei (Institut Teknologi Bandung)
- 14:15～14:35 脱炭素社会とCCUSの法政策 (柳憲一郎、小松英司)
- 14:35～14:50 日本の温暖化政策 岡松 暁子 (法政大学)
- 14:50～15:05 オーストラリアにおける温暖化政策とCCUS
Ian Havercroft (Global CCS Institute)
- 15:05～15:15 第1部の総括・閉会の挨拶：
柳憲一郎 司会：小松英司

休憩 15分

第2部 WIPO GREENセッション：

グリーンテクノロジーマーケットプレイス2022
～ WIPO GREEN を活用したアフリカとの連携～

- 15:30～15:35 開催の挨拶：永井一清 司会：萩原健太
- 15:35～15:55 基調講演 澤井智毅 (WIPO日本事務所)
- テーマA アフリカ諸国の政治・経済状況と日本からの技術協力・支援の経緯**
- 15:55～16:15 アフリカ・サブサハラ地域の政治・経済状況
笹岡雄一
- 16:15～16:35 アフリカ廃棄物管理分野における国際協力
JICA地球環境部 森 達朗
- テーマB アフリカ諸国の環境技術ニーズと求められる支援**
- 16:35～16:45 WIPO GREENの最新状況とアフリカにおける活動の経緯
諏訪頼正
- 16:45～17:25 アフリカにおけるインパクト投資の必要性和
環境技術開発におけるWIPO GREENの活用
Edward Mungai (Kenyan Climate Innovation Center)
- 17:25～18:05 ジンバブエにおける環境技術ニーズと
イノベーター支援におけるWIPO GREENの可能性
Rumbidzayi Rosemary Mlambo (Techwoman Zimbabwe)
- 18:05～18:25 Q&A及び第2部の総括 諏訪頼正、永井一清
- 18:25～18:30 閉会の挨拶：辻雄一郎 司会：萩原健太

お問い合わせメールアドレス

第1部 小松英司 ccs2016@meiji.ac.jp
第2部及びシンポジウム全体 永井一清 nagai@meiji.ac.jp

Green Technology Marketplace 2021 & 2022

～ International symposium for accelerating the dissemination of Japanese Environmental-sound technologies ～

本国際シンポジウムでは、世界知的所有権機関(WIPO)によるWIPO GREENをはじめとしたグローバルな取り組みのなかで、

- ①いかにして日本の環境技術の海外移転を実現するのか、
- ②それによるアジア太平洋諸国(2021)やアフリカ(2022)の持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた課題とその解決策について、

科学技術の社会実装に必要な**施策・法規制**や**財政措置**等の社会制度の視点を取り入れ、国内外の多様な研究者・専門家を集めて議論。

ポイント

- I. プラットフォームとしてのWIPO GREENの位置づけと活用
- II. ニーズ情報の集め方。先進国からはシーズ情報の提供の一方通行。
- III. 技術移転の実現に向けた資金面での援助。途上国のエキスパートが既にODA(政府開発援助)による支援ではなく、ビジネス化に向けたファンドを求めている。

プラットフォームが機能するために必要なこと

- 積極的に活動する参加者を増やすこと
- WIPO GREEN Partners間の有機的な結びつきを強めること
- 本当に求められていることを見つけて理解するように努めること
(相互理解を深めること)



問い合わせ先

〒214-8571

神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

明治大学高分子科学研究所

永井一清（ながい かずきよ）

E-mail: nagai@meiji.ac.jp

明治大学高分子科学研究所

<http://www.isc.meiji.ac.jp/~polymer/index.html>

明治大学グリーンテクノロジーアライアンス

<http://www.isc.meiji.ac.jp/~polymer/organization/green.html>

明治大学国際標準化センター

<http://www.isc.meiji.ac.jp/~polymer/organization/standards.html>

永井研ホームページ

<https://www.isc.meiji.ac.jp/~nagailab/>

